



東大宮すぽくら通信

第41号平成26年1月
編集・発行
NPO法人東大宮スポーツクラブ
〒880-0837
宮崎市村角町島ノ前1346の1
Tel (0985) 20-6122
Fax (0985) 48-6133



明けまして

おめでとうございます。

今年も 宜しくお願い致します。



今年、午年。午年にまつわる話やことわざ等いろいろ調べました。「馬耳東風」「人間万事塞翁が馬」「馬脚を表す」「麒麟も老いてはどばに劣る」「馬齢を重ねる」と中々良いたとえになるものが見つかりませんでした。ならばと、

「馬」から連想するもの、、、たとえば、「競馬」。より早く走る為に作られたあの体！素晴らしいです。しかし、一旦怪我をしてしまうと、走れないとも言われます。特に競走馬のように体重に対して脚の強度が低い動物は、一本の脚が骨折することにより、他の脚にかかる負担は、より大きいものになります。骨折の程度によりますが、骨折自体で死亡することは、あまりありません。しかし、その治療の過程で他の脚に負担がかかり、蹄葉炎(ていようえん)という病気になってしまいます。この蹄葉炎は激痛を伴い、治療自体が難しいため、そのまま衰弱死またはショック死することが多いのです。よって、重度の骨折と判断された場合、その馬は殺処分(安楽死処置)が下されると言う事です。少し悲しいですね。

さて、人は、一度挫折を味わっても立ち直れる動物だと思います(時と場合によるとは思いますが)。実は、クラブは10年を過ぎ、ここが正念場となっています。25年度は会員が減少しています。事情はいろいろありますが、スタッフ役員一同初心にかえり「総合型地域スポーツクラブ」の本来



の目的理念、そして「東大宮スポーツクラブ」の理念信念と目的を再確認していかなければ、と思っているところです。これからの10年、20年をしっかりと歩いて行くために。

ところで、25年度は、文部科学省の「地域スポーツとトップスポーツの好循環推進事業」という事業を受託し活動しています。県内のトップアスリートと言われる方々をスポーツ少年団や学校部活、総合型地域スポーツクラブに派遣し指導して頂いたり、小学校の体育授業の支援を行ったり、子どもの達の体力向上の為に講習会を開いたりさまざまな活動を行っています。2020年の東京オリンピック開催が決定した年に、この事業を受託出来たことを大変嬉しく思っています。(後2年受託予定)7年後この事業で指導を受けた子ども達からオリンピック選手が出れば、なんて言う夢を描いています。hahahahaha/////

クラブ会員の子どもさんが「オリンピック選手は無理だけど、ボランティアには行きたい」と言っていました。子ども達の夢を大きく育ていけるようにこの事業を活用して行きたいと思えます。

ここでご報告ですが、私たち東大宮スポーツクラブの事務局長杉元雅代が「文部科学大臣生涯スポーツ功労者賞」を受賞しました。これらは偏に皆様のおかげだと感謝しております。これからもクラブの応援を宜しくお願い致します。

